令和８年度No.26　R8.11.6（金）　校長室から保護者の皆様へ　串高通信

11／4（水）「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」――ビブリオバトル予選





読書というものは、一般的に、一人で楽しむものというイメージが強いと思われます。でも一方では、読んだ後に感想を話したり、身近にいる誰かに薦めたくなったりするという経験もあるのではないでしょうか。生徒たちは当日の5・6限の2時間を使って、クラス単位でのビブリオバトルに臨みました。



最初に、グループ単位で、一人ずつ本の紹介を5分、その後にディスカッションを3分行いました。次に、グループ代表者による本の紹介とディスカッションを経て、最終的にクラス代表者を選出。代表者は18日の本選（全校生徒の前で紹介）に進むことになります。

ビブリオバトルの効果は、単に読書に対する興味を高めたり、読書を促進したりするだけではありません。発表者には、相手の反応を考えながら、自分の考えを分かりやすく伝える力が求められます。また、聞き手には、集中して聞く力、本の魅力・発表者の意図を汲み取る力、自分とは異なる価値観を受け止める力、この時間を豊かにするために質問を通じて内容を深める力などが求められます。端的に言えば、共感とコミュニケーション力です。



ビブリオバトルは、参加者の姿勢しだいでその質が決まると言えます。ビブリオバトルのキャッチコピー「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」とはまさにその通り。各クラスでは、有意義な時間が創られたことと思います。





今週は県民週間でした。

毎年11月の1週目は、県内の公立学校において一般の方々を対象に学校開放の期間となっています。私も、他校種の授業を参観できる機会でしたので、今日はいちき串木野市内の小中学校を訪問。それぞれの学校の持つ雰囲気を感じとることができました。

また、5日（木）には、いちき串木野市教育委員会の皆さまが串高に来校。授業参観のほか、「串木野学」など串高の特色について知っていただく機会となりました。

インスタもご覧ください。串木野高校頑張っています（文責　立森）